

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 5

2015年5月29日発行



6月の聖句「絶えず祈りなさい」(聖書 テサロニケ I 5:11)

チャプレン 池田 亨

幼い子どもたちの祈る姿は、実に美しく、神の国をうつしだしています。霊性において、子どもたちは成長の途上ではなく完成の域に達しているのでは、とわたしは子どもたちから学んでいます。

新約聖書において、文献学上、最も古いものは聖パウロのテサロニケの第一の書簡です。その有名な勧めの一つが今月のみことばです。祈りは、すべての人間に共通する聖なるものです。特定の宗教をもたない人にとっても…

あのマザー・テレサは毎朝早くに聖堂で沈黙の祈りを一時間ちかくささげて一日を歩みだしたといえます。貧しい人への奉仕という能動的行動(アクション)に先行して、神さまに聞くという受動的行動(パッション)がありました。

マザー・テレサのそのようなあり方は、キリスト教の伝統の流れにあります。そのことから、祈りは自分の願望ではなく、神さまの前で空っぽになって、神のみこころを求めることの大切さを示されます。



月曜日の礼拝で、チャプレンがみんなに見せてくださった古い木彫りの像です。ヨハネが安心してイエス様の横ですやすや眠りこんでいます。本当はヨハネは青年なのに、まるで子どものようにかわいらしくデフォルメされていて純粹さと安心感があらわされています。にっこり微笑んで眠っています。



祈る姿って美しい!

園長 菊地 和子

長い間わたしは、公立中学校で働いていたのと、夫の家が仏教と神道の両方を大事にする家庭だったこともあり、すっかりイエス様に祈る暮らしを忘れていました。

どんな宗教でも人が一心に祈る姿は美しいものですが、この聖十字幼稚園に来て、思わず涙がツーンとこみあげてくる瞬間がたくさんあります。それは人が祈る姿を見るときです。

4月の聖餐式

4月5日、園長就任式をして下さったときの礼拝に、先生方が全員出席してくれたのです。頭を垂れて一心に祈る先生方の姿を見て「フーン!ときました。今まで懸命にこの幼稚園を守ってきたことや、これからの園子どもたちへの思いが、体中から表現されていたからです。」



毎朝うちあわせの前に、そっとお祈りします。なげでしてくれるお祈りは、ずっと不信心だった私、なんかは、とにもできないようなすてきな祈りです。子どもたちの病気や疲れのようす、活動のこ、そして必ず世界に困難を暮らしをしている人たちのことに触れます。

毎朝の職員会議



月曜日の全体礼拝

やさしく目をとじて下さい...というとき



願いをこぼすには、じがひとつになる。ゆくりと実現に向かう...そう感じる時間です。

たまに熱心に自分の足を叩きながらお祈りしているおもしろいですが、年長さんはさすが! かつよく、ステキにお祈りしています。

献金のその後

子どもたちが毎週おさげする献金は世界の各地に届けられています。昨年度2学期とクリスマスの献金は US ドルで\$710にもなり、パレスチナで困難な生活をしている方々に送られ、英語の感謝状と領収証が届きました。(裏面)昨年度3学期と今年度5月前半までの献金33,066円は教会の献金と合わせて नेपाल地震支援活動のために2、3日後にすぐ現地に入られた榎戸健次郎先生(聖十字幼稚園の前園医)が属しているNPO 法人とさんご海外保健協力会にさっそく送られました。貴重なお金をありがとうございました。